

基本情報	コード	名称	事業類型	Ⅲ	整備事業	会計区分コード	会計	款	項	目	細目	細々目
	事業名	0546 伊賀神戸駅前周辺整備事業					01	08	04	01	344	71
	基本施策	27 秩序のなかにもにぎわいのある都市空間をつくる	所属		コード	名称	連絡先(記入者)					
				190700		建設部都市計画課 事業推進係	松尾 卓哉 43 - 2315					

概要	事業概要	主要地方道上野名張線が完成すると、県道から伊賀神戸駅までの市道を利用することが予想されるため、県道の完成に併せ、道路拡幅及び歩道の整備を行い、駅への通勤・通学の円滑なアクセスと通過交通の安全確保に努めるものです。						事業期間 平成 22 年度 ~ 平成 26 年度					
	根拠法令・要綱等	審議会・委員会等											
	補助金支出	有	※支出“有”の場合要綱を記入 社会資本整備総合交付金交付要綱						分掌事務番号				
	対象(誰を、何を)	伊賀神戸駅周辺地域と住民						※対象件数	単位	H23実績	H24実績	H25見込	H26目標値
	成果(どうする)	駅及び駅周辺の整備を行うことでバスなどの公共交通機関と鉄道とのアクセス向上を行います。											
H24実施内容	事業用地の地権者と買収交渉を行い、用地取得、建物補償を行った。												

指標	項目	単位	実績値				目標値		説明
			H23	H24	H25	H26			
	目標	実績	目標	実績					
成果指標	事業の進捗率	%	50.0	40.0	51.0	100.0			
			20.0	38.0					

コスト	項目	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。							特記事項記入欄(特定財源の名称等)
		H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額	
	[収入]	使用料・手数料							
		国費 (補助率 55.0%)	8,512	10,369	8,618	29,315			
		県費 (補助率)							
		地方債	7,180	9,400	6,280	23,540			
		その他	383	503	332	1,245			
		合計(A)	16,075	20,272	15,230	54,100	0	0	0
	[支出]	事業費							
		工事費		1,065	7,305	53,000			
測量設計委託料		199	340		700				
調査業務委託料									
用地取得費		11,225	11,231	7,500					
補償費		4,252	7,282						
一般職給		200							
	その他事務経費	199	354	425	400				
	小計(B)	16,075	20,272	15,230	54,100	0	0	0	
人件費	正規職員	人数	1.0人	1.0人	1.0人	1.0人	人	人	人
		人件費	5,682	5,777	5,777	5,777	0	0	0
	臨時・嘱託・再雇用職員	人数	人	人	人	人	人	人	人
		人件費							
	小計(C)	5,682	5,777	5,777	5,777	0	0	0	
	合計(D=(B+C))	21,757	26,049	21,007	59,877	0	0	0	
[収支]	一般財源充当額(D-A)	5,682	5,777	5,777	5,777	0	0	0	
	(うち繰越金)								
	※前年度比	—	95	0	0	△ 5,777	0	0	
	対象者あたり一般財源充当額					—	—	—	

必要性	8. 受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業		
有効性	※廃止したときの影響	達成度	※未達成事項記入欄
	伊賀神戸駅周辺の土地利用や、駅へのアクセス道路の必要性など地域住民の要望に寄与できる。	(概ね)順調	
関与の妥当性	協働の状況など		
実施方法(該当するもの全て)	委託・指定管理(公募・競争)	負担金・補助金・交付金	※委託内容及び委託先の存在
	委託・指定管理(非公募・随意)	直接実施(契約・交付事務を除く)	
昨年度記載した改善策	早期に工事着手できるよう、地権者と交渉を継続的に行い、事業用地の取得を行う。	左記改善策への取組状況	【状況】 【詳細】 計画のとおり進んでいる。
			事業用地の確保に向け事業用地地権者と交渉を重ねた。
現時点における課題及び課題に対する改善策	代替地を希望している地権者との交渉が難航している。		
今後の方向性	担当課長氏名	方向性	理由
	清水 仁敏	現状維持	通勤、通学時間帯になれば歩行者、バス、送迎車両等の通過車両が混在し非常に危険な状態になっているため、県道バイパスから駅までのアクセス道路の整備を行う。

基本情報	コード	名称	事業類型	IV	経常的事務事業	会計区分 コード	会計 01	款 08	項 04	目 01	細目 359	細目 03
	事業名	0549										
	基本施策	27	秩序のなかにもにぎわいのある都市空間をつくる	所属	190700	建設部都市計画課 総務管理係	連絡先(記入者) 葛原 秀哉 43 - 2314					

概要	事業概要	開発事業者に対して、都市計画法及び関係政省令、三重県宅地開発事業の基準に関する条例、伊賀市宅地造成等事業に関する指導要綱に基づき指導を行う。また、都市計画法等で定められた、区域区分や用途制限等について、市民等からの問合せ・相談に応じる。						事業期間			
	根拠法令・要綱等	都市計画法及び関係政省令、三重県宅地開発事業の基準に関する条例、伊賀市宅地造成等事業に関する指導要綱				審議会・委員会等		平成	年度 ~ 平成	年度	
	補助金支出	無	※支出“有”の場合要綱を記入						分掌事務番号	2	
	対象(誰を、何を)	開発地及び開発行為者 市民及び土地取引事業者等				※ 対象 件数	単位	H23実績	H24実績	H25見込	H26目標値
	成果(どうする)	地域の環境に配慮した良好な都市環境と宅地水準の確保を図る。									
H24 実施 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画法で定められた区域区分や用途指定等の相談対応(通年) ・都市計画法や県条例、市指導要綱に沿った開発事業計画への指導(通年) ・開発協議及び宅地造成連絡協議会議の開催(11回、16件) ・都市計画法に基づく許可申請・届出の県への送致 										

指標	項目	単位	実績値				目標値		説明
			H23		H24		H25	H26	
			目標	実績	目標	実績			
活動指標	開発行為協議申請件数	件	目標	-	目標	-	-	-	事業者等による開発協議の申請件数。
成果指標	不適合申請率	%	目標	0.0	目標	0.0	0.0	0.0	不適合申請が少ないほど、指導が行き届いている。
			実績	0.0	実績	0.0			

コスト	項目	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。								特記事項記入欄(特定財源の名称等)
		H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額		
[収入]	使用料・手数料									
	国費 (補助率)									
	県費 (補助率)									
	地方債									
	その他									※財源は全て基金繰入金及び基金利子となります。
	合計(A)	0	0	0	0	0	0	0	0	特記事項記入欄(積算基礎等)
[支出]	開発納付金返還金	109		177,350						
	公共施設等整備基金積立金	3,999	10,820	515	500	500	500	500	500	
	その他事務経費									
	小計(B)	4,108	10,820	177,865	500	500	500	500	500	特記事項記入欄(有資格者の状況等)
人件費	正規職員	人数	1.5人	1.5人	1.5人	1.5人	1.5人	1.5人	1.5人	
		人件費	8,523	8,666	8,666	8,666	8,666	8,666	8,666	
	臨時・嘱託・再雇用職員	人数	人	人	人	人	人	人	人	
		人件費								
	小計(C)	8,523	8,666	8,666	8,666	8,666	8,666	8,666	8,666	
	合計(D=(B+C))	12,631	19,486	186,531	9,166	9,166	9,166	9,166	9,166	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)
[収支]	一般財源充当額(D-A)	12,631	19,486	186,531	9,166	9,166	9,166	9,166	9,166	
	(うち繰越金)									
	※前年度比	-	6,855	167,045	△ 177,365	0	0	0	0	
	対象者あたり一般財源充当額									

必要性	8. 受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業		
有効性	※廃止したときの影響	達成度	※未達成事項記入欄
	法令の定めによる事業であるため廃止できない。	(概ね) 順調	
効率性	※事業を行うにあたって非効率な点(実施主体、システム等)		
	都市計画図が非更新であることやデジタル化されていないことから、相談時の対応が非効率である。		
関与の妥当性	協働の状況など		
実施方法(該当するもの全て)	委託・指定管理(公募・競争)	負担金・補助金・交付金	※委託内容及び委託先の存在
	委託・指定管理(非公募・随意)	○ 直接実施(契約・交付事務を除く)	
昨年度記載した改善策	都市計画区域図や用途地域図等のホームページ公開を行ったが、平成25年度を目標に、更に見やすく実用的な図の公開とする。	左記改善策への取組状況	【状況】 【詳細】 計画のとおり進んでいる。 都市計画図の更新及びデジタル化に向けた準備を進めた。
現時点における課題及び課題に対する改善策	土地利用に係る問い合わせが1日に10~20件あるが、20年以上を経過した紙ベースの図面を用いた対応を行っており業務効率が悪い。平成25年度において、これら図面の更新とデジタル化を図る。		
今後の方向性	担当課長氏名	方向性	理由
	清水 仁敏	現状維持	用途制限や開発行為等の相談に対し、適正な対応が出来ており、引き続き都市計画法及び市の指導要綱に基づく指導等を行う

基本情報	コード	名称	事業類型	I	ソフト事業	会計区分コード	会計	款	項	目	細目	細々目
	0553	まちづくり環境条例推進事業					01	08	04	01	364	01
	事業名	0553	まちづくり環境条例推進事業	所属	190700	建設部都市計画課 総務管理係	連絡先(記入者) 葛原 秀哉 43 - 2314					
基本施策	27	秩序のなかにもにぎわいのある都市空間をつくる										

概要	事業概要	伊賀支所管内において、「伊賀町まちづくり環境条例」に基づく開発行為等の届出に係る協議を行う。						事業期間				
								平成	年度 ~ 平成	年度		
	根拠法令・要綱等	伊賀町まちづくり環境条例				審議会・委員会等						
	補助金支出	※支出“有”の場合要綱を記入						分掌事務番号		2		
	対象(誰を、何を)	伊賀支所管内の土地について建築行為や開発行為、土地取引等を行う者				※対象件数		単位	H23実績	H24実績	H25見込	H26目標値
成果(どうする)	地域の環境に配慮した良好な地域の住環境等の確保を図る。											
H24実施内容	条例に定められた届出行為等の相談(通年) 届出に対する関係各課への意見照会並びに行方への同意(7件)											

指標	項目	単位	実績値				目標値		説明
			H23	H24	H25	H26			
	活動指標	届出件数	件	目標 実績	目標 実績	-	-	-	
成果指標	同意発行率	%	目標 実績	目標 実績	100.0	100.0	100.0	100.0	市の同意発行率で条例どおりの協議が整った割合がわかる。

コスト	項目	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。								特記事項記入欄(特定財源の名称等)
		H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額		
[収入]	使用料・手数料									
	国費(補助率)									
	県費(補助率)									
	地方債									
	その他	29	29	29	29	29	29	29	29	
	合計(A)	29	29	29	29	29	29	29	29	特記事項記入欄(積算基礎等)
[支出]	需用費	29	29	29	29	29	29	29	29	
	事業費									
	人件費									
	その他事務経費									
	小計(B)	29	29	29	29	29	29	29	29	特記事項記入欄(有資格者の状況等)
[収支]	正規職員	人数	0.5人	0.5人	0.5人	0.5人	0.5人	0.5人	0.5人	
	人件費	2,841	2,889	2,889	2,889	2,889	2,889	2,889	2,889	
	臨時・嘱託・再雇用職員	人数	人	人	人	人	人	人	人	
	人件費									
	小計(C)	2,841	2,889	2,889	2,889	2,889	2,889	2,889	2,889	
合計(D=(B+C))	2,870	2,918	2,918	2,918	2,918	2,918	2,918	2,918	2,918	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)
一般財源充当額(D-A)	2,841	2,889	2,889	2,889	2,889	2,889	2,889	2,889	2,889	
(うち繰越金)										
※前年度比	—	48	0	0	0	0	0	0	0	
対象者あたり一般財源充当額										

必要性	8. 受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業		
有効性	※廃止したときの影響	達成度	※未達成事項記入欄
伊賀支所管内に特化した開発・建築指導が行えなくなる	(概ね)順調		
効率性	※事業を行うにあたって非効率な点(実施主体、システム等)		
	伊賀町まちづくり環境条例で定める届出要件と都市計画法及び伊賀市宅地造成等事業に関する指導要綱で定める申請要件とが相違するため、許認可申請手続き等が複雑となっている		
関与の妥当性	協働の状況など		
実施方法(該当するもの全て)	委託・指定管理(公募・競争)	負担金・補助金・交付金	※委託内容及び委託先の存在
	委託・指定管理(非公募・随意)	○ 直接実施(契約・交付事務を除く)	
昨年度記載した改善策	市全域の今後の土地利用管理手法を検討する中で、引き続き「伊賀町まちづくり環境条例」の今後のあり方等について検討を加える。	左記改善策への取組状況	【状況】 【詳細】 計画のとおり進んでいる。 伊賀支所管内のみに限定した開発・建築指導の要否について、都市計画課内において検討を加えている。
現時点における課題及び課題に対する改善策	「伊賀町まちづくり環境条例」の今後のあり方等について、伊賀支所の担当者との協議を進める。		
今後の方向性	担当課長氏名	方向性	理由
	清水 仁敏	現状維持	伊賀支所との協議を踏まえ今後のあり方が定まるまでは、現行どおりの指導等を行う。

基本情報	コード	名称	事業類型	I	ソフト事業	会計区分 コード	会計 01	款 08	項 04	目 01	細目 367	細々目 51
	事業名	0557										
	基本施策	27	秩序のなかにもにぎわいのある都市空間をつくる	所属	190700	建設部都市計画課 事業推進係	連絡先(記入者) 松尾 卓哉 43 - 2315					

概要	事業概要	市町村合併に伴い、現在の市域には4つの都市計画区域と都市計画区域外の地域が混在するため、一体的な都市づくりを進めるため、都市計画区域の再編と区域区分の方針を定めなければならない。						事業期間 平成 22 年度 ~ 平成 27 年度			
	根拠法令・要綱等	都市計画法			審議会・委員会等		土地利用管理手法検討委員会				
	補助金支出	無 ※支出“有”の場合要綱を記入						分掌事務番号			
	対象(誰を、何を)	都市計画区域の再編と土地利用管理手法の設定			※対象件数	単位	H23実績	H24実績	H25見込	H26目標値	
	成果(どうする)	都市計画区域の再編と都市マスタープランにもとづく、多核連携型の都市構成を実現するための整備、開発、保全を図るための手法が確立され、住み良さが実感できる効率的で持続可能なまちづくりが行える。									
H24実施内容	議会へは、土地利用管理手法検討委員会での検討状況や地域説明会での状況を報告し、意見をいただいた。また、住民への出前説明会及び若年層、女性団体へ説明会を行った。										

指標	項目	単位	実績値				目標値		説明	
			H23		H24		H25	H26		
	活動指標	土地利用管理手法検討委員会の開催	回	目標 4.0	実績 6.0	目標 2.0	実績 0.0	2.0	2.0	
	成果指標	都市計画区域の再編、区域区分制度設計	%	目標 70.0	実績 60.0	目標 70.0	実績 60.0	70.0	80.0	

コスト	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。												
	項目	H23決算額 H24決算額 H25当初額 H26計画額 H27計画額 H28計画額 H29計画額								特記事項記入欄(特定財源の名称等)			
		[収入]	使用料・手数料										
		国費(補助率)											
		県費(補助率)											
		地方債											
		その他	676	11,112	500	5,800	5,800						
		合計(A)	676	11,112	500	5,800	5,800	0	0		特記事項記入欄(積算基礎等)		
	[支出]	事業費	計画策定委託料		10,939		5,000	5,000					
			委員報酬	342		240	400	400					
		その他事務経費	334	173	260	400	400						
		小計(B)	676	11,112	500	5,800	5,800	0	0		特記事項記入欄(有資格者の状況等)		
	人件費	正規職員	人数 1.0人	1.0人	1.0人	1.0人	1.0人	1.0人	人	人			
		人件費	5,682	5,777	5,777	5,777	5,777		0	0			
		臨時・嘱託・再雇用職員	人数 人	人	人	人	人	人	人	人			
		人件費											
		小計(C)	5,682	5,777	5,777	5,777	5,777		0	0			
		合計(D=B+C)	6,358	16,889	6,277	11,577	11,577		0	0	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)		
[収支]		一般財源充当額(D-A)	5,682	5,777	5,777	5,777	5,777		0	0			
		(うち繰越金)											
		※前年度比	—	95	0	0	0		△ 5,777	0			
		対象者あたり一般財源充当額											

事後評価	必要性	8. 受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業													
	有効性	※廃止したときの影響			達成度				※未達成事項記入欄			効率性		※事業を行うにあたって非効率な点(実施主体、システム等)	
		都市マスタープランに基づく、都市機能を維持、充実させ住み良さが実感できる、効率的で持続可能な多核連携型の都市構成となるまちづくりが行われる。			(概ね)順調										
	関与の妥当性					協働の状況など									
	実施方法(該当するもの全て)	委託・指定管理(公募・競争)			負担金・補助金・交付金			※委託内容及び委託先の存在							
		委託・指定管理(非公募・随意)			直接実施(契約・交付事務を除く)										
	昨年度記載した改善策	制度設計については、市民の土地利用についての意向が十分反映されるよう、外部への発信にも力点を置きながら作業を進めることが必要であるため、今後は、土地利用の仕組みや制度設計の取組みの状況が、幅広く市民に周知されるよう広報活動や意見収集を含めた作業を進める。				左記改善策への取組状況		【状況】 【詳細】		計画のとおり進んでいない。					
								市民への周知活動として、ホームページへ説明資料を掲載し、出前説明会を行い若年層や女性団体への周知活動を行った。							
現時点における課題及び課題に対する改善策	土地利用管理手法検討委員会から提言をいただけるよう作業を進める。														
今後の方向性	担当課長氏名	清水 仁敏	方向性	現状維持											
	理由 伊賀市都市マスタープランの方針による一体的なまちづくりを行うことを目的とし、都市計画区域の再編を行うと共に区域区分制度の制度設計を行う。検討委員会や検討会議において、線引きの場合と非線引きの場合の制度設計を進め、制度確立に向けての取組みを行い、委員会から提言をいただく。														

基本情報	コード	名称	事業類型	I	ソフト事業	会計区分コード	会計	款	項	目	細目	細々目
	0558	市街地整備推進事業費					01	08	04	02	371	51
	事業名	0558	市街地整備推進事業費	所属	190700	建設部都市計画課 総務管理係	連絡先(記入者) 葛原 秀哉 43 - 2314					
基本施策	27	秩序のなかにもにぎわいのある都市空間をつくる										

概要	事業概要	伊賀市ふるさと風景づくり条例及び伊賀市景観計画に基づき、景観形成の観点から開発・建築指導、相談及び届出に対する適合審査を行う。また、伊賀市景観計画の普及・啓発を図る。						事業期間									
							平成	年度 ~ 平成	年度								
	根拠法令・要綱等	景観法、伊賀市ふるさと風景づくり条例、伊賀市景観計画				審議会・委員会等	伊賀市景観審議会										
	補助金支出	※支出“有”の場合要綱を記入						分掌事務番号	3								
	対象(誰を、何を)	伊賀市の景観				※対象件数		単位		H23実績		H24実績		H25見込		H26目標値	
	成果(どうする)	自然、歴史、文化を活かした伊賀市らしい景観まちづくりを進める。															
	H24実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 伊賀市景観計画及び伊賀市ふるさと風景づくり条例の運用と、それに基づく指導・相談(通年) 景観計画に基づく届出に対する適合審査(65件) 伊賀市景観審議会の開催(3回) 景観アドバイザーとの打ち合わせ・協議(通年) 															

指標	項目	単位	実績値				目標値		説明
			H23	H24	H25	H26			
活動指標	広報回数	回	目標 2.0 実績 1.0	目標 2.0 実績 1.0	2.0	2.0			
	成果指標	適合率	%	目標 100.0 実績 100.0	目標 100.0 実績 100.0	100.0	100.0	適合率が高いほど、景観計画に沿った建築行為がなされている。	

コスト	項目	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。								特記事項記入欄(特定財源の名称等)
		H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額		
[収入]	使用料・手数料									
	国費 (補助率)									
	県費 (補助率)									
	地方債									
	その他	211	222	366	366	366	366	366	366	
	合計(A)	211	222	366	366	366	366	366	366	特記事項記入欄(積算基礎等)
[支出]	景観審議会委員報酬	156	222	240	240	240	240	240	240	※平成25年度、景観色彩ガイドライン策定等業務委託料 補正予算要求予定
	謝礼	9		60	60	60	60	60	60	
	その他事務経費	46		66	66	66	66	66	66	
	小計(B)	211	222	366	366	366	366	366	366	特記事項記入欄(有資格者の状況等)
[人件費]	正規職員	人数	0.3人	0.3人	0.3人	0.3人	0.3人	0.3人	0.3人	
		人件費	1,705	1,733	1,733	1,733	1,733	1,733	1,733	
	臨時・嘱託・再雇用職員	人数	人	人	人	人	人	人	人	
		人件費								
	小計(C)	1,705	1,733	1,733	1,733	1,733	1,733	1,733	1,733	
	合計(D=(B+C))	1,916	1,955	2,099	2,099	2,099	2,099	2,099	2,099	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)
[収支]	一般財源充当額(D-A) (うち繰越金)	1,705	1,733	1,733	1,733	1,733	1,733	1,733	1,733	
	※前年度比	—	29	0	0	0	0	0	0	
	対象者あたり一般財源充当額									

必要性	9. 市の個性、特色、魅力を継承・発展・創造し、あるいは国内外へ情報発信することを目的とした事業		
有効性	※廃止したときの影響 景観まちづくり誘導が困難となる	達成度 (概ね)順調	効率性 ※事業を行うにあたって非効率な点(実施主体、システム等) 景観まちづくりの総合的企画は、建築規制の観点のみでは不十分である
関与の妥当性	協働の状況など		
実施方法(該当するもの全て)	委託・指定管理(公募・競争)	負担金・補助金・交付金	※委託内容及び委託先の存在
昨年度記載した改善策	色彩ガイドラインの早期策定及び住民の景観意識向上のための制度周知を図る。	左記改善策への取組状況	【状況】 【詳細】 計画のとおり進んでいる。
			平成21年度から検討されている本市独自の色彩ガイドラインの策定については、その策定方法・手順等の見直しを進めている。また、制度周知等については、住民の景観意識向上を目的とした広報・啓発事業を実施している。
現時点における課題及び課題に対する改善策	本市独自の景観色彩ガイドラインについては、審議会から、より専門的なガイドラインの策定を求められることとなり、その策定方法・手順等の再検討を進めている。また、景観計画において官公庁の建築物等の取り扱いについて明示するよう同審議会から併せて求められており、これら景観計画の見直しを進める。		
今後の方向性	担当課長氏名	方向性	理由
	清水 仁敏	現状維持	本市の個性、特色を活かしたまちなみの保存・再生のため、景観計画に基づく指導や制度周知を継続する必要がある。

基本情報	コード	名称	事業類型	I	ソフト事業	会計区分 コード	会計	款	項	目	細目	細々目
	0562	市街地整備推進事業費						01	08	04	02	371
	事業名	0562	市街地整備推進事業費	所属	190800	建設部中心市街地推進課	連絡先(記入者) 藤森 大輔 22 - 9825					
基本施策	27	秩序のなかにもにぎわいのある都市空間をつくる										

概要	事業概要	城下町伊賀上野の財産である町家を残し、活用するため、市所有の町家管理、町家活用業務の委託等を行う。また、市民・来街者のまちなかへの回遊を図るため、駅前広場駐車場完成までの間ハイトピア伊賀周辺に駐車場を確保し、管理業務を委託する。						事業期間					
	根拠法令・要綱等	審議会・委員会等						平成	16	年度	～	平成	年度
	補助金支出	※支出“有”の場合要綱を記入						分掌事務番号	1				
	対象(誰を、何を)	市民、来街者、観光客						※ 対象 件数	単位	H23実績	H24実績	H25見込	H26目標値
	成果(どうする)	町家の魅力を広く発信することで回遊人口、まちなか居住者、まちなかでの出店者の増加を促進し、にぎわいを創出する											
H24 実施 内容	<ul style="list-style-type: none"> 町家活用推進業務を伊賀上野町家みらいセンターに委託し、町家活用の調査研究、イベントの実施、町家利活用の啓発を実施した 市所有の物件について庭園の樹木剪定、草刈業務等を実施し、適切な保全を行った ハイトピア伊賀第1・第2・東専用駐車場を設置、管理業務を株式会社まちづくり伊賀上野に委託、適切な管理を行った 												

指標	項目	単位	実績値				目標値		説明
			H23	H24	H25	H26			
	活動指標	町家活用イベントの開催	回	目標 4.0 実績 4.0	目標 4.0 実績 4.0	4.0	4.0	町家活用の事例紹介、実証実験	
成果指標	イベントの参加者数	人	目標 5,200.0 実績 4,900.0	目標 5,200.0 実績 5,600.0	5,200.0	5,200.0	イベントの参加者数		

コスト	項目	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。								特記事項記入欄(特定財源の名称等)
		H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額		
[収入]	使用料・手数料									特記事項記入欄(積算基礎等)
	国費(補助率)									
	県費(補助率)									
	地方債									
	その他									
	合計(A)	0	0	0	0	0	0	0	0	
[支出]	町家活用業務委託料	500	725	725	725	725				特記事項記入欄(有資格者の状況等)
	植木剪定業務等委託料	435	491	357	491	357				
	成瀬平馬屋敷門等管理業務委託		3,162	2,992						
	ハイトピア伊賀東専用駐車場管理業務委託		1,785	2,992						
	駐車場用地借上料		1,080							
	駐車場施設整備工事費		1,450							
	既設建築物除却工事費		22,249							
	ハイトピア伊賀オープニングイベント負担金		1,695							
	その他事務経費	310	532	123	150	150				
		小計(B)	1,245	33,169	7,189	1,366	1,232	0	0	
人件費	正規職員	人数	0.5人	0.2人	0.2人	0.2人	0.2人	人	人	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)
		人件費	2,841	1,155	1,155	1,155	1,155	0	0	
	臨時・嘱託・再雇用職員	人数	0.0人	0.0人	0.0人	人	人	人	人	
		人件費								
	小計(C)	2,841	1,155	1,155	1,155	1,155	0	0		
	合計(D=(B+C))	4,086	34,324	8,344	2,521	2,387	0	0		
[収支]	一般財源充当額(D-A)	4,086	34,324	8,344	2,521	2,387	0	0		
	(うち繰越金)									
	※前年度比	—	30,238	△ 25,980	△ 5,823	△ 134	△ 2,387	0		
	対象者あたり一般財源充当額									

必要性	7. 民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業		
有効性	※廃止したときの影響	達成度	※未達成事項記入欄
市が率先して町家の保全・活用に取り組むことで、歴史的まちなみの保全に対する市民の意識を醸成するとともに、町家活用に関するモデルとなる有効な事業であり、廃止した場合、街なみの崩壊が加速的に増加し、貴重な財産を多数失うことになる。	(概ね)順調	町家活用に対する民間事業の取り組みが十分とは言えない。所有物件について、用途等が決定していないものがある。	町家活用に関して、民間活力を導入し、効率的かつ今後の自立に向けて取り組むため、平成24年度から事務局を株式会社まちづくり伊賀上野に移管している。また、管理物件の方向性が不明確なまま草刈りや剪定のみを実施している点については非効率である。
関与の妥当性	協働の状況など		町家活用に関して伊賀上野町家みらいセンターに業務委託し、イベントの実施等については協働で行っている。また、みらいセンター事務局を株式会社まちづくり伊賀上野が行っているほか、その他管理物件の活用方法について上野商工会議所建設部会との協働でプロジェクト会議を開催している。
実施方法(該当するもの全て)	○ 委託・指定管理(公募・競争)	○ 委託・指定管理(非公募・随意)	負担金・補助金・交付金 直接実施(契約・交付事務を除く)
昨年度記載した改善策	平成24年度当初から事務局移管を予定しているが、年度当初にNINJAフェスタをはじめとする多くの事業が集中しており、事業に支障をきたさないよう移管事務をスムーズに行う必要がある。	左記改善策への取組状況	【状況】 【詳細】 計画のとおり進んでいる。 予定通り事務局の移管を行い、滞りなく事務が進められている。
現時点における課題及び課題に対する改善策	町家活用に関して伊賀上野町家みらいセンターとの協働により取り組んできたが、今後は委託料の減額・廃止も視野に入れ、自立に向けた組織強化、支援体制を整える必要がある。また、その他管理物件についても早急に方向性を決定し、活用のモデルとした上で、民間事業者の参入により取り組みが継続されるよう情報を発信していく。		
今後の方向性	担当課長氏名	方向性	理由
	東 弘久	現状維持	伊賀上野町家みらいセンターについては、平成24年度に事務局を移管したばかりであり、今後も財政的・人的支援を継続したい。また、その他管理物件については市民や民間事業者へ参画いただきながら、引き続き有効な活用方法を模索していきたい。

基本情報	コード	名称	事業類型	Ⅲ	整備事業	会計区分 コード	会計 01	款 08	項 04	目 02	細目 371	細々目 52
	事業名	0564		街なみ環境整備事業								
	基本施策	27	秩序のなかにもにぎわいのある都市空間をつくる	所属	190700	建設部都市計画課 総務管理係	連絡先(記入者) 葛原 秀哉 43 - 2314					

概要	事業概要	「伊賀市ふるさと風景づくり条例」に基づき、城下町重点風景地区内において、景観の保全・形成に寄与する建築行為等に対し助成を行う。						事業期間								
		平成	年度	～	平成	年度										
	根拠法令・要綱等	伊賀市ふるさと風景づくり条例、伊賀市ふるさと風景づくり助成金交付要綱			審議会・委員会等	伊賀市景観審議会										
	補助金支出	<input type="checkbox"/> 有	※支出“有”の場合要綱を記入 伊賀市ふるさと風景づくり助成金交付要綱						分掌事務番号	3						
	対象(誰を、何を)	城下町に残る町家及び付属建築物等			※対象件数		単位		H23実績		H24実績		H25見込		H26目標値	
	成果(どうする)	町家等の保存修繕、新改築等により城下町の景観の保全・形成を図る														
H24実施内容	・景観アドバイザー会議の開催(1回) ・伊賀市ふるさと風景づくり助成金の交付(1件)															

指標	項目	単位	実績値				目標値		説明	
			H23		H24		H25	H26		
	活動指標	助成金の申請件数	件	目標 4.0	実績 2.0	目標 4.0	実績 1.0	3.0	3.0	
	成果指標	助成金の申請件数	件	目標 4.0	実績 2.0	目標 4.0	実績 1.0	3.0	3.0	

コスト	項目	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。							特記事項記入欄(特定財源の名称等)		
		H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額			
	使用料・手数料										
	国費 (補助率 42.3%)		596	845	2,115	2,115	2,115	2,115	2,115		
	県費 (補助率)										
	地方債										
	その他		880	1,275	3,035	3,035	3,035	3,035	3,035		
	合計(A)		1,476	2,120	5,150	5,150	5,150	5,150	5,150	特記事項記入欄(積算基礎等)	
	[支出]	事業費	謝礼	6	6	36	36	36	36	36	
			ふるさと風景づくり助成金	1,410	2,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	
その他事務経費			60	114	114	114	114	114	114		
小計(B)			1,476	2,120	5,150	5,150	5,150	5,150	5,150	特記事項記入欄(有資格者の状況等)	
[人件費]	人件費	正規職員	人数 1.0人	人数 1.0人	人数 1.0人	人数 1.0人	人数 1.0人	人数 1.0人	人数 1.0人		
		人件費	5,682	5,777	5,777	5,777	5,777	5,777	5,777		
		臨時・嘱託・再雇用職員	人数 人	人数 人	人数 人	人数 人	人数 人	人数 人	人数 人		
		人件費									
小計(C)		5,682	5,777	5,777	5,777	5,777	5,777	5,777			
合計(D=(B+C))		7,158	7,897	10,927	10,927	10,927	10,927	10,927	10,927	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)	
[収支]	一般財源充当額(D-A)		5,682	5,777	5,777	5,777	5,777	5,777	5,777		
	(うち繰越金)										
	※前年度比		—	95	0	0	0	0	0		
対象者あたり一般財源充当額											

必要性	9. 市の個性、特色、魅力を継承・発展・創造し、あるいは国内外へ情報発信することを目的とした事業		
有効性	※廃止したときの影響	達成度	※未達成事項記入欄
伊賀市景観計画の実効性が低下する	(概ね)	順調	
関与の妥当性	協働の状況など		
実施方法(該当するもの全て)	<input type="checkbox"/> 委託・指定管理(公募・競争)	<input type="checkbox"/> 負担金・補助金・交付金	※委託内容及び委託先の存在
	<input type="checkbox"/> 委託・指定管理(非公募・随意)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施(契約・交付事務を除く)	
昨年度記載した改善策	住民や関係性のある委員会・団体への制度の周知。制度を活用して助成を行った建造物の長期的な活用と保存等について、的確な取り決めを策定する。	左記改善策への取組状況	【状況】 【詳細】 計画のとおり進んでいない。 関係者を通じて制度の周知を行っているが、十分なものとなっていない。また、助成建造物の長期的な活用・保存に関する取り決めについては、助成金交付要項の改正案について、景観アドバイザー等と協議することとしている。
現時点における課題及び課題に対する改善策	助成した建造物の長期的な活用と保存等についての取り決めの策定が完結していないため、関係者と協議し引き続き策定に取り組む。また、建築にあたっては、助成金を利用してもなお多額の費用負担が建築主に生じることから、積極的な建築行為につながっていないとの見方がある。		
今後の方向性	担当課長氏名	方向性	理由
	清水 仁敏	現状維持	城下町としての伝統と風格のある景観形成に欠くことのできない事業であり現状維持としたい。

基本情報	コード	名称	事業類型	Ⅲ	整備事業	会計区分 コード	会計 01	款 08	項 04	目 02	細目 371	細々目 52	
	事業名	0566		街なみ環境整備事業									
	基本施策	27	秩序のなかにもにぎわいのある都市空間をつくる	所属	190800	名称	建設部中心市街地推進課			連絡先(記入者)			
													藤森 大輔 22 - 9825

概要	事業概要	伊賀市中心市街地において行政と市民が協働で策定した、街なみ環境整備事業計画に基づき、道路美装化、公園整備、等の住環境整備を実施する。						事業期間							
								平成 20 年度	～ 平成 29 年度						
	根拠法令・要綱等	伊賀市中心市街地活性化基本計画、社会資本総合整備計画			審議会・委員会等		うえのまちまちづくり協議会								
	補助金支出	※支出“有”の場合要綱を記入						分掌事務番号		1					
	対象(誰を、何を)	市民、来街者、観光客			※対象件数		単位		H23実績		H24実績		H25見込		H26目標値
成果(どうする)	城下町の魅力を発信し、住みやすく歩きやすい住環境を整備することで回遊人口、まちなか居住者、まちなかでの出店者の増加を促進し、にぎわいを創出する														
H24実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 市道三之町線において道路美装化を実施した 武家屋敷である成瀬平馬屋敷門用地を取得した 忍町武家屋敷活用に係る詳細設計を実施した 														

指標	項目	単位	実績値				目標値		説明
			H23		H24		H25	H26	
			目標	実績	目標	実績			
活動指標	道路美装化事業進捗率	%	27.8	24.4	32.5	32.4	45.5	54.7	事業計画(10年間)における事業費ベースの進捗率
成果指標	歩行者・自転車通行量	人/日	4,043.0	2,223.0	4,270.0	3,259.0	4,270.0	4,270.0	毎年3月定点調査結果

コスト	項目	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。							特記事項記入欄(特定財源の名称等)
		H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額	
		[収入]	使用料・手数料						
	国費 (補助率 42.5%)		61,779	57,645	120,574	85,693	119,252	54,906	社会資本整備総合交付金(率変動あり)
	県費 (補助率)								
	地方債	52,015	80,800	73,600	156,000	111,000	154,000	71,000	合併特例債
	その他		6,865	6,134	8,329	6,137	8,441	4,384	
	合計(A)	52,015	149,444	137,379	284,903	202,830	281,693	130,290	特記事項記入欄(積算基礎等)
[支出]	事業費								
	不動産鑑定委託料		195						
	測量設計委託料		11,986	10,373	14,414	26,132	7,539	12,949	
	工事費		91,668	72,254	119,817	229,741	194,091	157,544	129,190
	まちづくり協議会活動助成金		80	200	200	200	200	100	100
	用地取得費			65,677		27,830		110,100	
	その他事務経費		823	940	2,949	1,000	1,000	1,000	1,000
	小計(B)	104,752	149,444	137,380	284,903	202,830	281,693	130,290	特記事項記入欄(有資格者の状況等)
	人件費								
	正規職員	人数	2.0人	2.0人	2.0人	2.0人	2.0人	2.0人	2.0人
		人件費	11,364	11,554	11,554	11,554	11,554	11,554	11,554
	臨時・嘱託・再雇用職員	人数	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人
		人件費							
	小計(C)	11,364	11,554	11,554	11,554	11,554	11,554	11,554	11,554
	合計(D=(B+C))	116,116	160,998	148,934	296,457	214,384	293,247	141,844	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)
[収支]	一般財源充当額(D-A)	64,101	11,554	11,555	11,554	11,554	11,554	11,554	
	(うち繰越金)								
	※前年度比	—	△ 52,547	1	△ 1	0	0	0	
	対象者あたり一般財源充当額								

必要性	8. 受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業		
有効性	※廃止したときの影響	達成度	※未達成事項記入欄
	市民との協働で策定された計画に基づく事業であり、期待度も高い。また、中心市街地活性化基本計画の主要事業となっているため廃止することは困難であり、合意形成も得られない。	やや遅れ	概ね計画どおりに進捗しているが、ポケットパークや広場について、用地の確保が遅れている箇所がある。
効率性	※事業を行うにあたって非効率な点(実施主体、システム等)		
			実施エリア内は水道管が老朽化しており、美装化の際に老朽管の更新作業ができるため効率性は高い。実施時期についても水道部と調整を図りながら進めている。
関与の妥当性	協働の状況など		平成20年度に国土交通大臣の同意を得た街なみ環境整備事業計画は、近隣住民を中心に構成された「うえのまちまちづくり協議会」と行政が協働で策定した計画であり、策定後における進行に関する諮問的役割も担っている。
実施方法(該当するもの全て)	委託・指定管理(公募・競争)	負担金・補助金・交付金	※委託内容及び委託先の存在
	委託・指定管理(非公募・随意)	○ 直接実施(契約・交付事務を除く)	
昨年度記載した改善策	これまでの取り組みの総括・検証を行うとともに、社会資本整備総合交付金事業の内容(広場・ポケットパークなど)を再考したうえで、今後の事業展開を計画的に進める。	左記改善策への取組状況	【状況】 【詳細】 計画のとおり進んでいる。
			平成25年度において、計画残事業の見直しを含め、今後の事業展開を整理する。
現時点における課題及び課題に対する改善策	公園やポケットパーク等今後整備を計画している箇所について、用地の確保が困難となっている。残事業の見直しの際施設の必要性も含めて検討を行う。		
今後の方向性	担当課長氏名	方向性	理由
	東 弘久	内容変更	平成24年度で計画期間(10年間)の半分が経過したため、中間時点における事業成果の確認と、残事業の整理を行い、再度事業実施に係る周知・広報を図ったうえで、事業を実施していきたい。

基本情報	コード	名称	事業類型	II	施設の建設	会計区分コード	会計	款	項	目	細目	細々目
	事業名	0920 市駅前地区市街地再開発事業					14	01	01	01	598	01
	基本施策	27 秩序のなかにもにぎわいのある都市空間をつくる	所属		190800	建設部中心市街地推進課	連絡先(記入者) 稲森 孝文 22 - 9825					

概要	事業概要	中心市街地活性化の先導的役割と伊賀地域の中心拠点としての求心性向上のため、伊賀鉄道上野市駅前の約1.1haの区域を伊賀市施行により再開発する。具体的には、公共公益、商業・地域振興といった複合機能を持つ施設建築物と駅前広場を含む都市計画道路の整備を行う。						事業期間 平成 17 年度 ~ 平成 25 年度				
	根拠法令・要綱等	都市計画法、都市再開発法			審議会・委員会等		伊賀市上野市駅前地区第一種市街地再開発審査会					
	補助金支出	無	※支出“有”の場合要綱を記入						分掌事務番号			1
	対象(誰を、何を)	①ハイトピア伊賀の区分所有者及び入居者 ②市民及び中心市街地への来訪者			※対象件数	単位	H23実績	H24実績	H25見込	H26目標値		
	成果(どうする)	①施設の新築整備による店舗・事務所等のリニューアルや商業テナントの新規出店により、集客力、収益力が向上する。 ②都市計画道路(駅前広場を含む)の整備により交通の安全性、利便性が向上するとともに、市民の交流と憩いの場が創出される。										
H24実施内容	・前年度に引き続き、都市計画道路(駅前広場を含む)の整備工事を行った。 ・ハイトピア伊賀の各権利者が権利変換により取得した部分の価格の確定及び清算が完了した。											

指標	項目	単位	実績値				目標値		説明
			H23		H24		H25	H26	
	活動指標	%	目標		目標				
成果指標	整備進捗率	%	目標	91.0	目標	100.0	100.0	事業費ベース	
			実績	88.0	実績				

コスト	項目	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。								特記事項記入欄(特定財源の名称等)
		H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額		
	[収入]	使用料・手数料								
		国費 (補助率 1/3、5.5/10)	1,117,770	184,228						社会資本整備総合交付金
		県費 (補助率)	122,164	61,969	533					公共施設管理者負担金
		地方債								
		その他	2,012,457	443,768	10,835					土地建物売払収入、一般会計繰入金、権利変換清算金等
		合計(A)	3,252,391	689,965	11,368	0	0	0	0	特記事項記入欄(積算基礎等)
	[支出]	調査設計計画費	87,586	18,077	6,820					
		施設建築物整備費	2,935,157	15,961	0					
	土地整備費	19,786	52,901	0						
	公共施設整備費	146,978	413,520	0						
	補償費	54,082	170,898	0						
	公課費	0	14,651	2,442						
	公債費	4,191	1,107	0						
	その他事務経費	3,182	1,408	2,106						
	小計(B)	3,250,962	688,523	11,368	0	0	0	0	特記事項記入欄(有資格者の状況等)	
	人件費	正規職員	人数	4.0人	4.0人	2.0人	人	人	人	人
		人件費		22,728	23,108	11,554	0	0	0	0
		臨時・嘱託・再雇用職員	人数	1.0人	1.0人	0.0人	人	人	人	人
		人件費		1,429	1,442					
		小計(C)		24,157	24,550	11,554	0	0	0	0
		合計(D=(B+C))		3,275,119	713,073	22,922	0	0	0	0
[収支]	一般財源充当額(D-A)	22,728	23,108	11,554	0	0	0	0		
	(うち繰越金)									
	※前年度比	—	380	△ 11,554	△ 11,554	0	0	0		
	対象者あたり一般財源充当額	5,682	5,777	5,777	—	—	—	—		

必要性	7. 民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業		
有効性	※廃止したときの影響	達成度	※未達成事項記入欄
	本年度中の事業完了に向けて推進中であり、廃止は不可能である。	やや遅れ	駅前広場等整備工事の工程を一部見直した結果、当初予定していた平成24年度中の完成ができなかった。
関与の妥当性	協働の状況など		
実施方法(該当するもの全て)	委託・指定管理(公募・競争)	負担金・補助金・交付金	※委託内容及び委託先の存在
	委託・指定管理(非公募・随意)	○ 直接実施(契約・交付事務を除く)	
昨年度記載した改善策	既設建物解体後の道路等整備工事について、夜間工事の併用等により効率的な推進を図るとともに、通行規制に伴う公共交通機関の迂回や埋設物等占用物件の移設といった関係事業者等との調整を円滑に行う。また、事業工程の見直しを検討する。	左記改善策への取組状況	【状況】 【詳細】 計画のとおり進んでいない。 道路、駅前広場整備について、夜間工事対応や関係事業者等との事前調整により工期短縮に努めてきたが、周辺通行者や公共交通機関利用者等の安全性及び利便性の確保と駅前の公共交通ターミナル機能の保持のため、工事の工程を一部見直す必要が生じ、事業期間を1年延長することとなった。
現時点における課題及び課題に対する改善策	引き続き周辺通行者や公共交通機関利用者等の安全性及び利便性の確保と駅前の公共交通ターミナル機能の保持に配慮しつつ、事業完了に向けた道路・駅前広場の残工事を進めていく。		
今後の方向性	担当課長氏名	方向性	理由
	東 弘久	終了	本年度の事業完了に向けて道路、駅前広場整備の残工事を実施中であり、計画どおりに完了する見込みのため。